

広報 たらら Tahara

臨時増刊号

(平成16年6月15日)

田原市・渥美町の合併協議について

渥美半島の共生と半島全体の

将来のまちづくり



日頃は、市政に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年8月20日に田原市が誕生し、早や9ヶ月が過ぎようとしております。この間、市民の皆様には様々な分野でお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

こうした新市のまちづくりの最中ですが、去る5月24日、渥美町から田原市への編入合併協議の申し入れがありました。これは、渥美町が田原市への編入合併を問う住民投票の結果を受けてのもので、投票率75%、賛成者85%という大変多くの方が田原市との合併を望まれましたが、この結果は渥美町民の皆様の危機感の表れであり、大変重い数字であると感じます。

先の3町合併協議の不調や、報道からつかいがい知る渥美町の状況などにより、市民の皆様には戸惑いや心配があるかもしれません。しかし、渥美半島の将来を展望すれば、豊かな自然や歴史・伝統文化を大切に、農業・工業などの個性に磨きをかけ、力を合わせた地域づくりを進めることは、双方にとってプラスに働き、良い方向に進むことだと思えます。

近く、行政懇談会等や市民アンケート調査で市民の皆様のご意見を伺います。この際の説明を具体化し、皆様のご判断の参考としていただくため、今回はあらかじめ基本的な項目などの課題整理を進めさせていただきました。今回の編入合併の申し入れは、今後の渥美半島づくりにとって大変重要なことだと思えます。先に不調があっただけに、この判断において、一時の感情論や損得だけで考えず、将来に禍根を残すようなことのないよう、ご判断をいただければ幸いです。

なお、この合併問題については、今後も各メディア等のご協力もいただきながらお知らせしてまいりますので、ご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。

平成16年6月

田原市長 白井孝市